

2019年度秋季 大阪大学 言語社会学会・言語文化学会 合同研究発表会
 (大阪大学言語文化学会 第56回大会)2019.10.26(土)

14:40-14:50	豊中総合学館3階301									
	開会の辞 言語文化学会会長 (言語文化研究科専攻長) 伊勢 芳夫									
	第1室 (豊中総合学館3階301)			第2室 (豊中総合学館3階講義室L3)			第3室 (豊中総合学館3階講義室L4)			
15:00-15:30	金俊平はなぜ女性に暴力を振るうのか？ -DV発生理論から読み解く梁石日『血と骨』-			中国におけるヤオイの受容状況 -関係性の読み替え:イギリスドラマ『SHERLOCK』を例に-			日本語、スウェーデン語とハンガリー語における「現在との関連性」と結果性の相関関係			
	発表者:	LEE Joongchan	言語文化専攻M2	発表者:	銭 蕾	言語文化専攻D3	発表者:	TÓTH MÁRTON ANDRÁS	言語社会専攻M2	
司会:	宮下遼(言語社会専攻)			司会:	未定(言語社会専攻)			司会:	渡邊伸治(言語文化専攻)	
15:40-16:10	空飛ぶ大統領、負傷兵、脅威のプロットー Philip Rothの“The Plot Against America”における「子供の恐怖譚」			「家族BL」で描かれる新たな家族像についての分析 -「近代家族」との比較をととして-			日本語の連体修飾環境における形容詞と動詞の相違点 -連続した形容詞・動詞を中心に-			
	発表者:	近藤 佑樹	言語社会専攻D2	発表者:	東浦 可奈	言語文化専攻M2	発表者:	GIOLCA RALUCA MARIA	言語社会専攻M2	
司会:	村上スミス・アンドリュウ(言語文化専攻)			司会:	宮下遼(言語社会専攻)			司会:	ホドシチェク・ボル(言語文化専攻)	
16:20-16:50	地図がつくるハイパーリアルー ディズニールランドの記号論			社会問題の告発をめぐるオートエスノグラフィー			台湾華語の“雷”の意味変化			
	発表者:	川村 明日香	言語文化専攻D3	発表者:	林 桂生	独立研究者	発表者:	王 天保	台湾淡江大学日本語文学科 助理教授	
司会:	渡邊克昭(言語社会専攻)			司会:	未定(言語社会専攻)			司会:	未定(言語社会専攻)	
17:30-19:30	懇親会 会場:生協「豊中福利会館4階食堂」 (会費:教員・修了生 3,000円 院生 1,000円 発表者 500円)									

